

2017年度の事業計画

◆はじめに

環境保全活動を市民、団体、有識者、事業者、行政、学校等立場の異なる多様な主体が幅広く連携することにより、相乗的な効果が発揮できる基盤としてのネットワーク化をすすめ、持続可能で豊かな社会の構築に向け、行動と参画、協働を推進します。

また、事業のあり方等の見直しをすすめます。

1. ネットワーク・広報・研究・助成事業

①. 助成事業

- ・ 県内の環境団体の育成と環境問題の研究に対して財政的な支援を図ります。
- ・ 「助成活動報告会」は、前年度助成団体による活動報告と、意見交流を行います。

②. ホタル団体交流会・ホタルフォーラム

- ・ ホタルに関する取り組みを実施している団体や個人の参加のもと交流をすすめ、自然環境保全活動の前進を図ります。
- ・ ホタル団体交流会を年3回開催します。また、現地視察等、取り組みに資する企画を検討します。
- ・ 第15回ホタルフォーラムを瀬戸内市内で開催します。

③. ニュース、ホームページ、メールニュースの発行

- ・ 各媒体の特徴を活かし、多様な情報発信、情報共有、各主体の交流の促進と、事業への参加や協力を促します。
- ・ ニュースは季刊発行とし、様々な情報提供、活動紹介をすすめます。
- ・ メールニュースは月2回を基本に発行し、タイムリーな情報発信をすすめます。
- ・ 「事業紹介パンフレット」や「事業・決算報告並びに事業計画・予算書」を作成し、広く活動の理解につなげ、それらを活用した会員獲得をすすめます。

④. 環境家計簿活動の普及

- ・ 環境家計簿の普及を通じ、家庭部門のCO₂排出削減をすすめ、環境に配慮した暮らしを見直す活動をすすめます。
- ・ 岡山市と協働で「環境家計簿レポート」、「環境家計簿カレンダー」を発行し、啓発につなげます。

⑤. 自然環境の研究・交流

- ・ 「里海づくり推進部会」にて、県内の活動の推進、学習・交流企画等の具体化を図ります。

⑥. 行政、他団体等とのつながり

- ・ 行政等との日常的なコミュニケーションを強め、共催事業の具体化や、委員会などの場で役割を発揮します。
- ・ 水環境フォーラムを（公社）日本水環境学会 中国・四国支部岡山地域分科会、岡山理科大学 環境教育地域支援研究会と共催で開催します。

2. 啓発事業

①. 市民のための環境講座

- ・ 環境問題を正しく理解し、意識啓発や行動を促し、社会全体の持続可能性を形づくる基本概念を学ぶことを目的に開催します。
- ・ 豊かな環境を次世代に継承できるよう、幅広い課題について、情報を発信します。
- ・ 笠岡でのアマモ場再生活動や、御津大野での各種取り組み等の企画をすすめます。
- ・ 他団体や行政等との連携と協働をすすめます。

②. 体験プログラム

- ・ 体験を通して得られる実感や理解をもとに、人間と環境との関わりや、豊かな環境とその恵みを大切に思う心をはぐくみ、命の大切さを学び、自然環境や普段のくらしを自ら考えるきっかけをつくることを目的に開催します。
- ・ 身近な自然環境に興味や関心を持つ機会、様々な自然とふれあう体験機会の提供をすすめます。
- ・ 他団体や行政等との協働をすすめます。
- ・ 「旭川かいぼり調査2017」を地元団体等と共催で開催します。
- ・ 日生でのアマモ場再生関連企画を継続します。

3. 法人管理・会計等

①. 公益財団法人の組織運営

新制度に沿った組織運営をすすめます。

②. 予算

20周年記念事業の準備として、2017年度より「特定費用準備資金」を積み立てます。

「特定費用準備資金」を除く予算は、収支均衡とします。